

# あすなろたち

心・技・体を鍛える

## 自主性・自己責任・向上心 ～スポーツ少年団ドッジボール部～

小学校でやったドッジボールといえば逃げる事が主流だったと思いますが、競技では自チームが攻撃をする為にボールを取ります。試合は12人制と10人制があり、低学年と高学年に分かれたチーム編成がされます。

一試合は5分間。

内野のレシーバーは向かってくるボールに全員で取りにゆき、アタッカーは仲間が作ってくれたチャンスが無駄にしないよう、外野とのパスを繰り返しながらアタックをします。一球一球が仲間との支え合いによって繋がられているのです。

普段の練習では

鬼ごっこやリレーなど遊びを交えることで、子ども達が楽しみながら基礎体力や運動能力の向上をしています。また、怪我をしない為にモストレッチをします。ブリッジしたまま歩くなど方法も様々で、色々な動きが出来る体作



りもしています。

ドッジは小学校までの競技ではありませんが、その後どの競技に移行しても、ここで育まれた基礎は他のどのスポーツでも活かされています。

ドッジを通し子ども達は様々な経験をし、学びます。指導者を中心とした親子の学びの場所として日々頑張っています。

(スポーツ少年団)

ドッジボール部

保護者会長 山辺 宝子(たがよ)

## 余光

2021年、新しい年が始まった。

昨年は、始まりから終わりまで新型コロナウイルス感染症に翻弄された年となった。この感染症がなければ、様々な行事が例年通り行われていた。また、本来ならば1964年以来の2回目の東京オリンピックも開催され、今頃はその余韻に浸っていたかもしれない。

しかし、今も世界中がウイルスという非常に小さな存在に翻弄され続けている。

このウイルスに対するワクチン開発も世界各国で進められ、海外ではワクチンの接種も始まっている。今後は、日本においてもワクチン接種の具体的なスケジュールが発表される予定であり、今後の動向を注視していきたい。

(山城 峻二)

発行責任者 議長 西沢 悦子  
議会報編集委員会

委員長 小宮山定彦  
副委員長 山城 峻一  
委員 玉川 清史  
栗田 隆  
大日向進也